

平成30年3月 浜田市議会定例会

平成30年度 水道事業会計当初予算説明資料



【浜田市給水車】



【給水活動】

浜田市上下水道部

目 次

平成30年度 浜田市水道事業会計当初予算説明資料

1. 平成30年度予算編成の基本方針	1
2. 平成30年度予算の編成概要	1
3. 主要事業の状況	9
4. 平成29年度予算との比較	10
5. 収支の状況	11
6. 水道事業費用の構成	12
7. 上水道事業職員数の推移	12
8. 収支の概要	13

1 平成 30 年度予算編成の基本方針

平成 30 年 4 月に簡易水道事業を上水道事業に統合し、一体的経営によって経営基盤の強化を図る。

料金改定については、平成 30 年 10 月から段階的に新料金へ移行するが、国の暫定的な地方財政措置を折り込んだ必要最小限度の改定率に抑制しているため、今後も継続的に経費節減等の経営合理化に努める。

あわせて、老朽化が進む水道施設の計画的な更新を実施することにより、安全・安心な水道水を安定的に確保・供給できるように努め、持続可能な水道事業経営を目指す。

(平成 30 年度予算編成 基本方針)

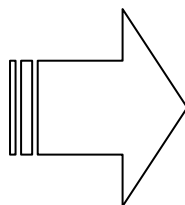
1) 経営健全化の推進と
経営基盤の強化

2) 事務事業の効率化と
計画的な事業の推進

3) 安全・安心な水道水の
確保と供給

4) 安定した給水の確保と
事故・災害対策の強化

【経営の視点による改革】



『きれいで安心して飲める
水道水を断水することなく安
定して供給する』

【市民への安全・安心の提供】

2 平成 30 年度予算の編成概要

平成 30 年度予算は、次の点に留意して編成を行った。

1◆主な留意項目等

(1) 給水収益(料金収入)の見込みについて

平成 30 年 4 月からの簡易水道の統合、10 月からの新料金への段階的な移行により、給水収益は増収を見込む。人口減少や節水に伴う水需要の減少も考慮し、平成 29 年度の上水道と簡易水道の給水収益の決算見込み合計額に対し、3.7%の増収を見込んで予算編成を行う。

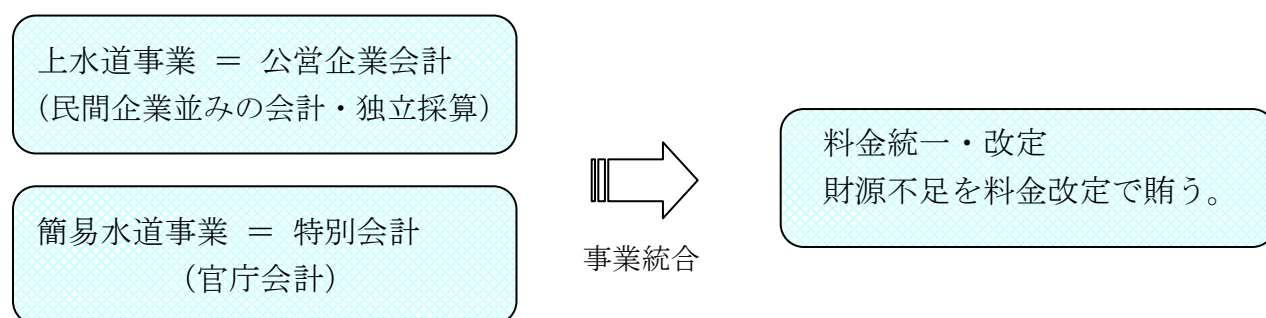
(2) 投資事業等の精査と借入れの抑制について

施設・設備の更新事業については、施設の老朽化の進行状況等を踏まえて、将来を見据えた効率的且つ計画的な更新を実施する。建設改良事業費に充てる企業債の借入については、借入額を建設改良費の概ね 50%程度に抑制することにより、企業債残高の段階的な削減に努める。

(3) 水道料金改定に伴う対応について

平成 30 年 10 月から実施する水道料金の改定に向けて、市民や事業者を対象とした説明会の開催等の周知活動を実施する。

平成 30 年度予算には、広報活動に要する諸経費や水道料金システムの改修費用を計上する。



(4) 災害対応及び漏水防止策の実施について

有収率の向上を図るため、漏水調査業務の推進、計画的な点検・更新にかかる費用を計上する。

また、冬季の凍結時の漏水防止のため、検針に併せたチラシ配布による注意喚起等、断水を未然に防ぐために必要な経費を予算計上する。

(5) 遊休資産の売却について

平成 29 年度には相生水源地跡地の一部を売却したが、平成 30 年度は、道分山配水池跡地の売却手続きを進める。

1◆予算数値の概要

(1) 収益的収支（税込み）について（予算説明資料 P10 参照）

収益の柱となる給水収益は 1,148,100 千円（税込）となり、前年度当初予算と比べ 322,400 千円の増収（39.0%増）を見込む。これは、簡易水道分の給水収益の増加と 10 月からの段階的料金改定によるものである。

営業外収益も含めた総収益においては 2,136,923 千円（税込）となり、前年度当初予算比で 997,133 千円の増収（87.5%増）を見込む。これは、簡易水道統合に伴い、統合前の簡易水道に係る一般会計からの基準内繰入金（起債の償還利息の 2 分の 1 相当分、高料金対策に要する経費相当分）、料金改定に当たり激変緩和策を講じるための減収補

てん分を一般会計から繰入れるためである。

また、非現金収入として、簡易水道に係る長期前受金戻入（284,661 千円）を計上していることも大きな増収要因である。

費用の総額は 1,962,162 千円（税込）で、前年度当初予算と比べ 864,154 千円の増加（78.7%増）を見込む。

これは、簡易水道事業との統合に伴う職員給与費の増加、減価償却費の増加等が大きな要因となっている。

（2）資本的収支（税込み）について（予算説明資料 P11 参照）

資本的収支は、収入総額 662,711 千円（税込）となり、前年度当初予算と比べ 460,888 千円の増加（228.4%増）を見込む。これは、統合前の簡易水道に係る基準内繰入金（簡易水道に対する起債の償還元金の 2 分の 1 相当分）を一般会計から繰り入れることや建設改良事業費に充当する企業債の増額等によるものである。

支出総額は 1,334,566 千円（税込）で、前年度当初予算と比べ 737,952 千円の増加（123.7%増）を見込む。これは、簡易水道の統合に伴う起債の償還元金の増加、配水施設費の増加によるものである。

資本的収支の収支不足額 671,855 千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

（3）財政状態（資産・負債）について（別紙：平成 30 年度当初予算書 P11・P12 参照）

【平成 30 年度予定貸借対照表残高】

・総資産	232 億円	・負債＋資本	232 億円
内、固定資産	224 億円	負債	168 億円
内、現金預金等	8 億円	内、長期前受金	70 億円
		資本	64 億円

① 資産の状況

平成 30 年度末の資産総額は 23,230,412 千円で、前年度予算比で 9,860,351 千円の増加（73.7%増）となる。平成 30 年度末の現金預金は 597,233 千円で、平成 29 年度決算見込みに対して 99,420 千円の増加（19.9%増）となる見込みである。

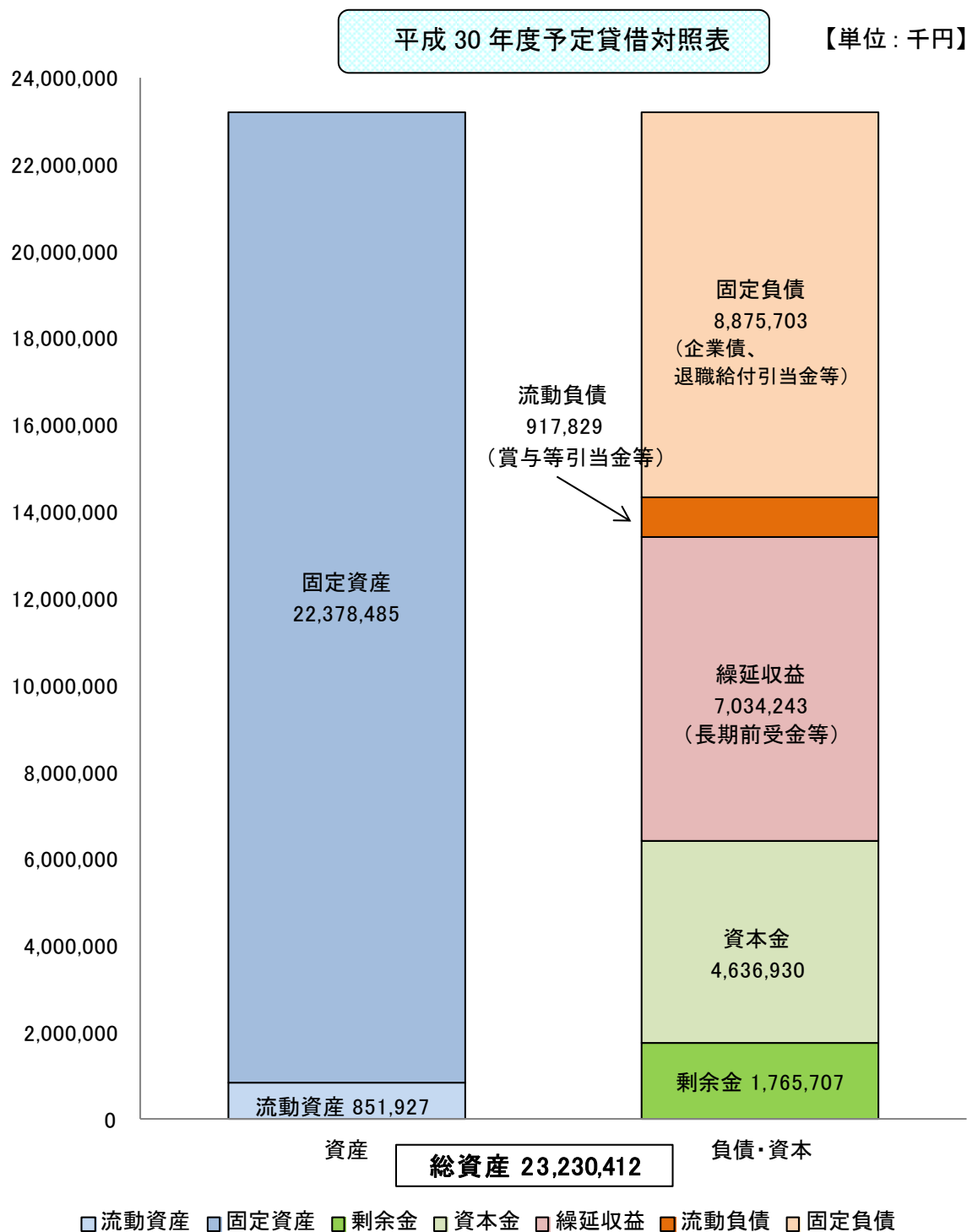
② 負債及び資本の状況

負債の部は 16,827,775 千円となり、前年度当初予算比 9,108,302 千円の増加（117.9%増）となる。

また、補助金等の自己財源以外の資金で取得した資産の減価償却費見合い分の財源の収益化額である長期前受金は 7,034,243 千円となり、負債の部（繰延収益）へ計上している。

なお、資本の合計は 6,402,637 千円となる。

■財政状態（予定貸借対照表）



(4) 予定損益計算書について（別紙：平成 30 年度当初予算書 P13 参照）

【平成 30 年度予定損益計算書】（税抜）

・営業収益	11億780万円
・営業損失	△5億6,102万円
・経常利益	1億6,482万円
・当年度純利益	1億7,104万円

平成 30 年度予定損益計算書（税抜）において、給水収益は 1,063,056 千円を見込んだ。前年度当初予算比 298,518 千円の増加（39.0%増）となる。

営業費用は 1,668,836 千円で前年度当初予算比 764,260 千円増（84.4%増）となる。旧簡易水道事業では、給水収益を上回る額の減価償却費が会計上の営業費用として計上されるため、営業収支は 561,027 千円の赤字を見込んでいる。

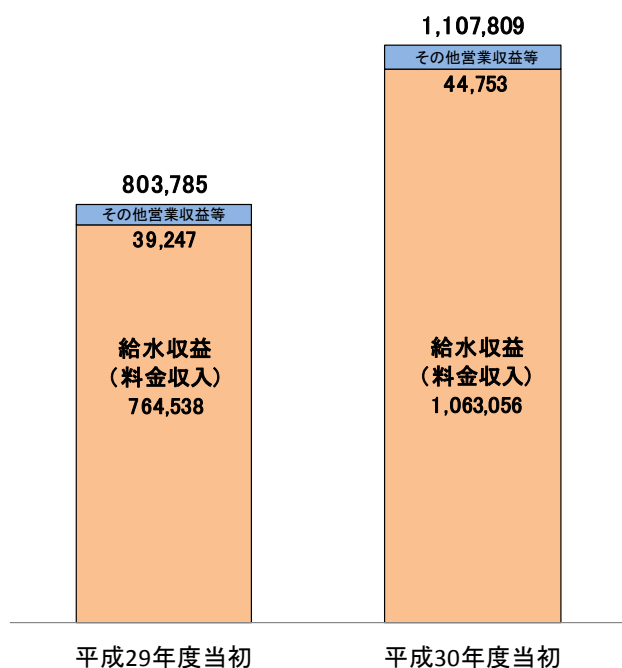
営業外収支は、支払利息、雑支出等の費用を上回る他会計補助金、長期前受金戻入等の収益によって、725,850 千円のプラスとなるため、経常利益は 164,823 千円を見込む。

固定資産売却益等の特別利益、過年度損益修正損等の特別損失のほか予備費を計上することにより、平成 30 年度の純利益は 171,046 千円を見込んでいる。

■経営成績（予定損益計算書）

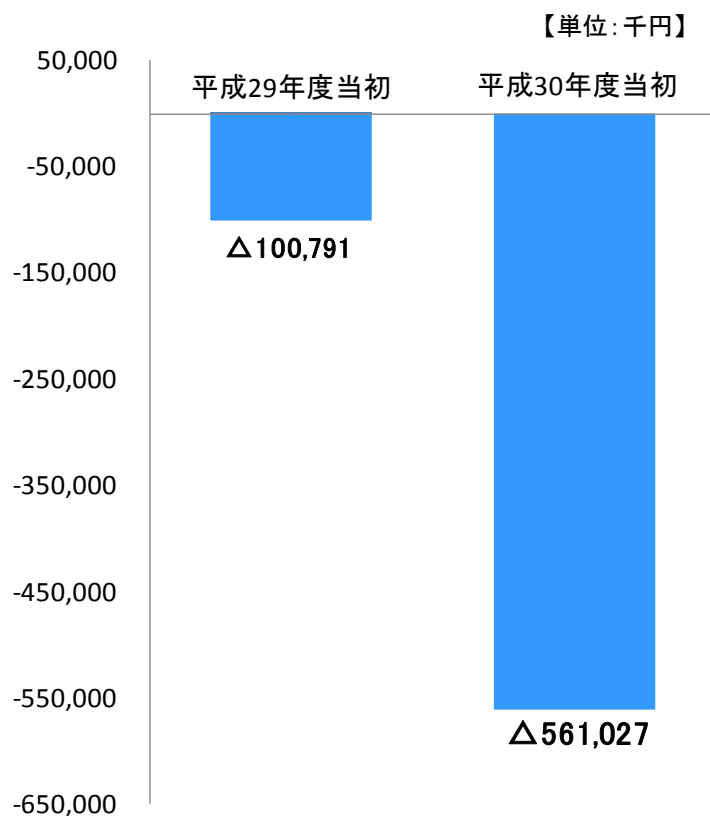
営業収益の比較

【単位：千円】



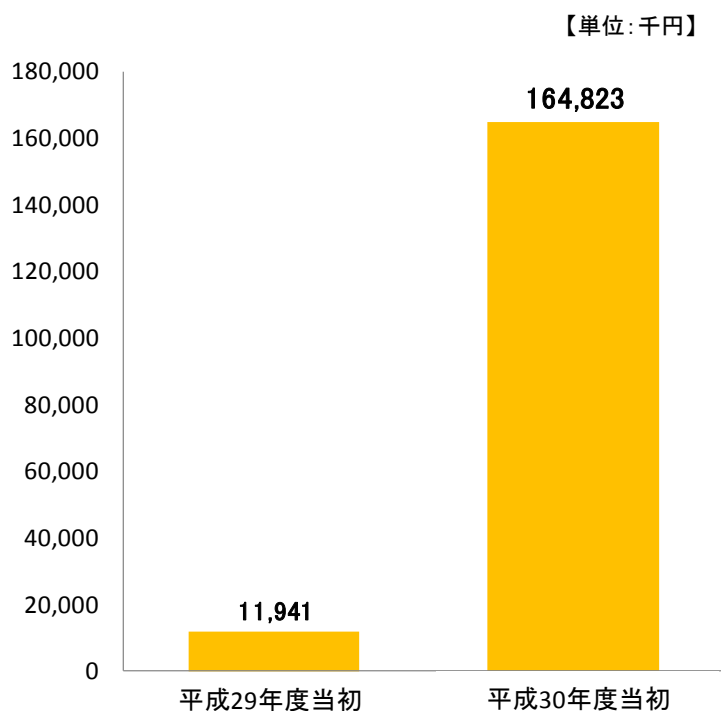
簡易水道事業との統合により、料金収入はH29 年度当初予算比で 39.0%増を見込む。

営業損益(△損失)の比較



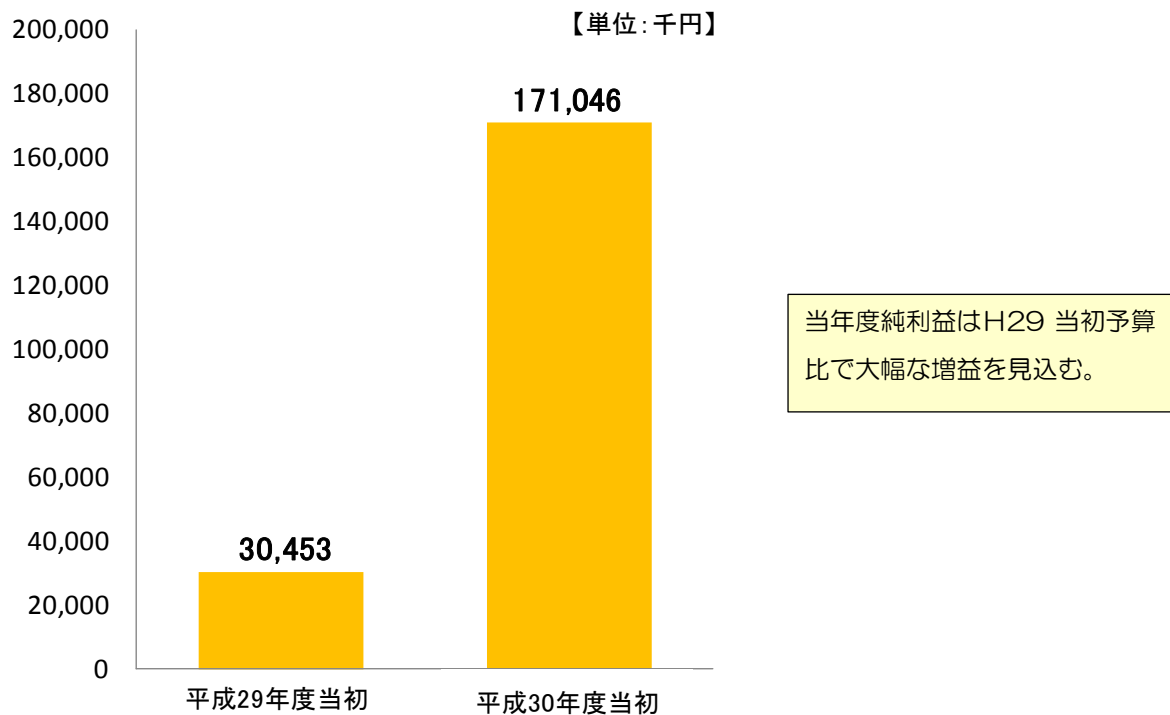
簡易水道資産に係る減価償却費が会計上の営業費用として計上されるため、営業損益は大幅なマイナスを見込む。

経常利益の比較



他会計補助金や長期前受金戻入等の営業外収益により、経常利益は H29 年度当初予算比で大幅な増益を見込む。

当年度純利益の比較



(5) 予定キャッシュ・フロー（資金状況）について（別紙：平成 30 年度当初予算書 P14 参照）

平成 30 年度のキャッシュ・フローの概要は以下のとおりである。

【平成 30 年度予定キャッシュ・フロー計算書】

・業務活動による CF	6 億 9,332 万円
・投資活動による CF	△1 億 3,750 万円
・財務活動による CF	△4 億 5,840 万円
・資金の増減額	9,742 万円
・資金の期首残高	4 億 9,781 万円
・簡易水道統合に伴う資金増加額	200 万円
・資金の期末残高	5 億 9,723 万円

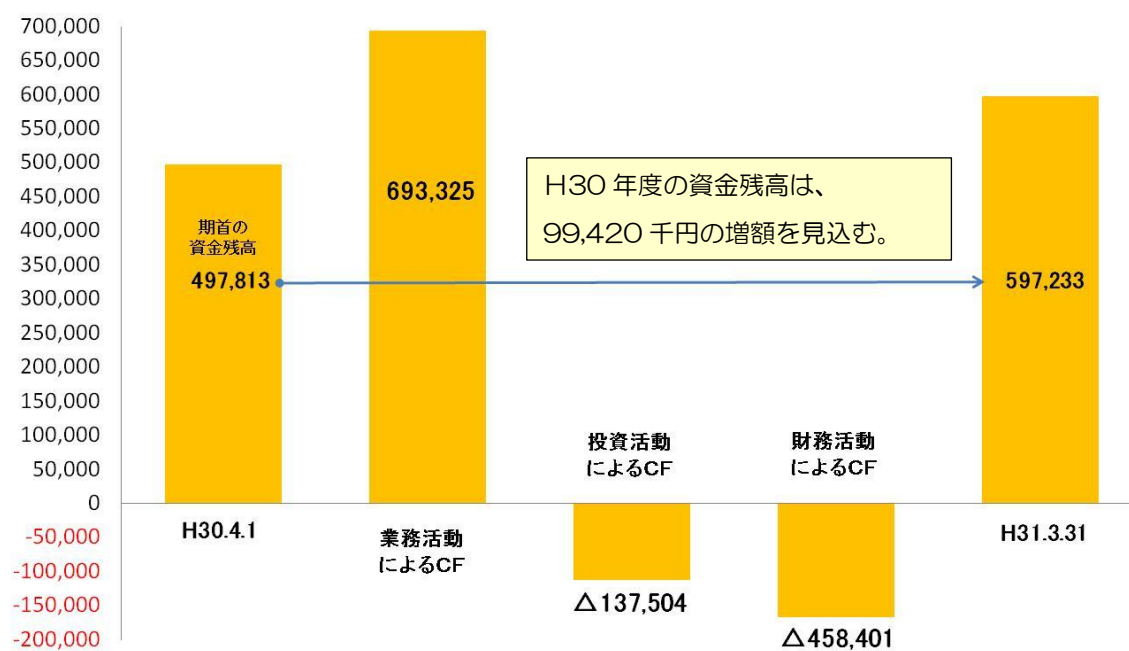
平成 30 年度予定キャッシュ・フロー計算書において、業務活動によるキャッシュ・フローは 693,325 千円の黒字、投資活動によるキャッシュ・フローは 137,504 千円の赤字、財務活動によるキャッシュ・フローは 458,401 千円の赤字となる。

また、簡易水道事業統合に伴い、200 万円の資金増加を見込む。

その結果、平成 30 年度末の資金残高は、平成 29 年度決算見込み額と比べ 99,420 千円増加し、597,233 千円となる見込みである。

平成 30 年度予定キャッシュ・フロー計算書

【単位：千円】



3. 主要事業の状況

平成 30 年度も引き続き、「安全で安心な水道水を安定的に供給すること」を基本原則とし、配水施設整備事業等を実施する。

(1) 業務委託（配水施設費）

○ 水道事業認可図書の作成

簡易水道事業を統合した浜田市上水道事業の今後の事業計画を策定するため、水道事業変更認可申請図書を作成する。

○ 水道施設更新計画の策定

簡易水道事業を統合した浜田市上水道事業の今後の効率的な施設更新を計画するため、施設更新計画を策定する。

(2) 改良事業（配水施設費）

○ 配水管改良工事

市街地の老朽化した配水管の更新に併せ、耐震管に改良する。

・竹迫町地区浜田 196、204 号線配水管改良工事 他

出水改善のため配水管を改良する。

・浅井町地区市道浜田 64、66、68 号線配水管改良工事 他

○ 支障移転関連配水管移設工事

国府地区下水道工事等に伴い、支障となる配水管を移設する。

(3) その他の事業

○ 漏水調査業務

水道水の安定供給を図るため、比較的交通量の多い密集地を中心に漏水調査業務を行い、有収率の向上に努める。

○ 水道料金改定に伴う住民説明会等広報業務

平成 30 年 10 月から実施する料金改定に向けて、市民や事業者を対象とした説明会の開催等の広報活動に要する諸経費、水道料金システムの改修費用を予算計上する。

○ 遊休資産の売却業務

平成 29 年度に相生水源地跡地の一部を売却したが、平成 30 年度は、道分山配水池跡地の売却手続きを進める。

4. 平成29年度予算との比較

【当初予算での比較】

■ 水道事業収益（税込み）

（単位：千円、％）

項	目	平成30年度予算	平成29年度予算	増 減	増 減 率
営業収益		1,194,365	865,899	328,466	37.9%
	給水収益	1,148,100	825,700	322,400	39.0%
	受託工事収益	216	216	0	0.0%
	その他営業収益	46,049	39,983	6,066	15.2%
営業外収益		932,557	213,490	719,067	336.8%
	受取利息及び配当金	101	296	△ 195	-65.9%
	他会計補助金	473,635	37,202	436,433	1173.1%
	長期前受金戻入	457,643	174,519	283,124	162.2%
	消費税還付金	3	1	2	200.0%
	雑収益	1,175	1,472	△ 297	-20.2%
特別利益		10,001	60,401	△ 50,400	-83.4%
	固定資産売却益	10,000	60,400	△ 50,400	-83.4%
	過年度損益修正益	1	1	0	0.0%
合 計		2,136,923	1,139,790	997,133	87.5%

■ 水道事業費用（税込み）

（単位：千円、％）

項 目	経費の詳細	平成30年度予算	平成29年度予算	増 減	増 減 率
営業費用		1,704,383	923,208	781,175	84.6%
	人件費	217,359	148,382	68,977	46.5%
	給料	85,855	57,901	27,954	48.3%
	手当等（賞与引当金繰入を含む）	84,347	56,947	27,400	48.1%
	法定福利費	33,347	22,008	11,339	51.5%
	その他人件費（嘱託職員報酬）	13,810	11,526	2,284	19.8%
	諸経費	503,251	269,497	233,754	86.7%
	備消耗品費	7,126	5,850	1,276	21.8%
	燃料費	2,065	1,403	662	47.2%
	委託料	120,102	50,836	69,266	136.3%
	修繕費	182,461	92,660	89,801	96.9%
	動力費	117,006	72,684	44,322	61.0%
	薬品費	2,987	1,469	1,518	103.3%
	材料費	4,880	3,558	1,322	37.2%
	その他諸経費	66,624	41,037	25,587	62.4%
営業外費用	減価償却費	963,513	495,169	468,344	94.6%
	資産減耗費	20,200	10,100	10,100	100.0%
	その他営業費用	60	60	0	0.0%
		253,699	132,760	120,939	91.1%
	支払利息	176,689	87,936	88,753	100.9%
特別損失	雑支出	77,010	44,824	32,186	71.8%
		3,000	41,500	△ 38,500	-92.8%
	過年度損益修正損等	3,000	1,500	1,500	100.0%
予備費	その他特別損失	0	40,000	△ 40,000	皆減
		1,080	540	540	100.0%
予備費	予備費	1,080	540	540	100.0%
合 計		1,962,162	1,098,008	864,154	78.7%

5. 収支の状況

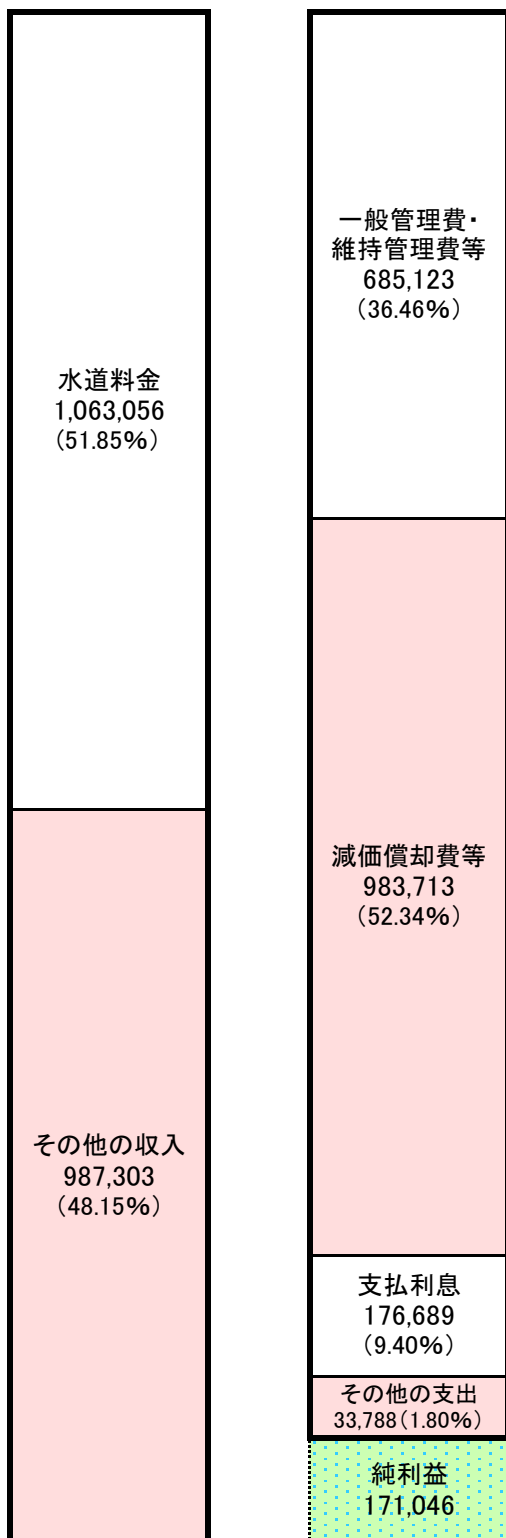
◆収益的収支

(事業、施設の管理に関する収支)

単位：千円（税抜き）

収入 2,050,359

支出 1,879,313



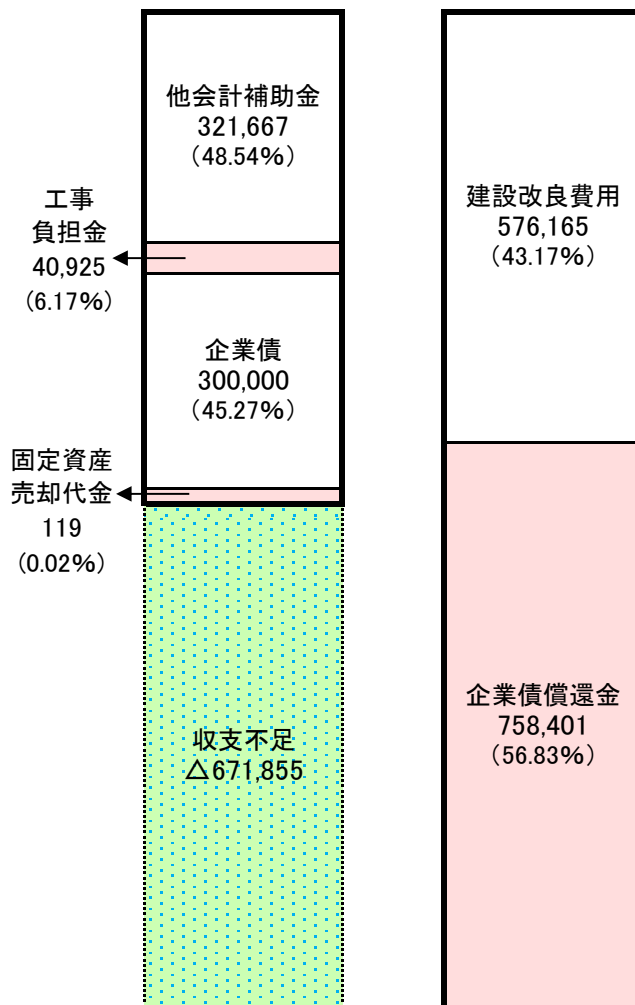
◆資本的収支

(施設の建設・改良などに関する収支)

単位：千円（税込み）

収入 662,711

支出 1,334,566



【収益的収支】

収入2,050,359千円、支出1,879,313千円のため、当年度純利益は171,046千円となる。

その他の支出は、営業外費用の雑支出30,010千円、特別損失2,778千円、予備費1,000千円の合計としている。

【資本的収支】

収入662,711千円、支出1,334,566千円のため、671,855千円の収支不足が発生するが、この不足分については、減価償却費等の現金支出を伴わない費用などの内部留保資金で補てんする。

※構成比は、四捨五入のため一致しない場合があります。

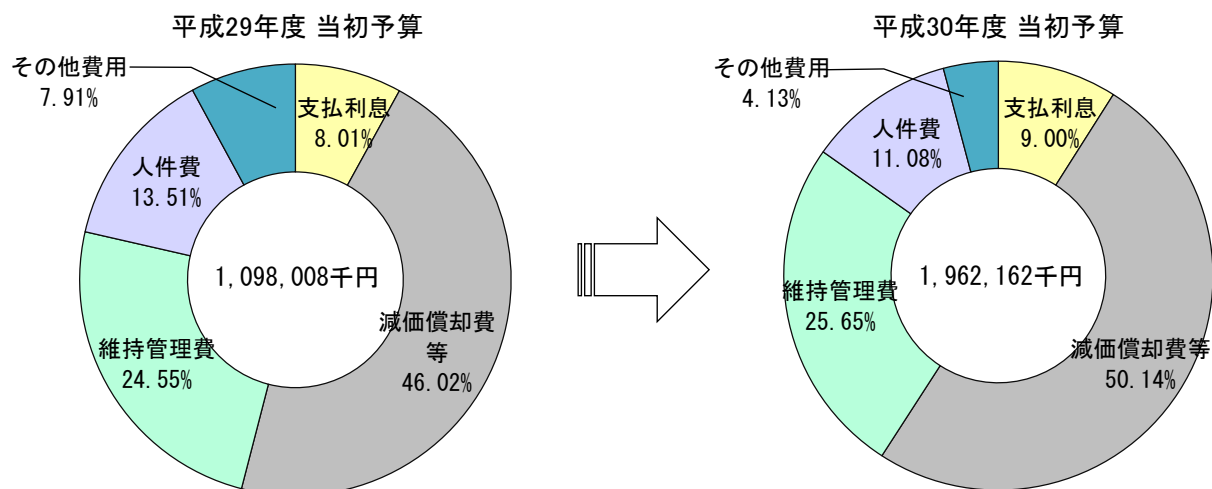
6. 水道事業費用の構成

平成30年度の水道事業費用は、前年度当初予算と比べ864,154千円の増加(税込み)を見込んでいる。

構成の内訳としては、人件費の割合は、11.08%で前年度比で2.43ポイント減少する。支払利息の割合は、9.00%で前年度比で0.99ポイント増加する。

また、減価償却費等の割合は、50.14%で前年度比で4.12ポイント増加し、維持管理費の割合は25.65%で1.1ポイント増加する見込みである。

その他費用の割合は、4.13%で、その他特別損失40,000千円を計上していた前年度に比べ、3.78ポイント減少する見込みである。



※構成比は、四捨五入のため一致しない場合があります。

7. 上水道事業職員数の推移

平成18年8月に「上水道事業経営改善計画」(平成20年度改正)を策定し、退職者不補充や正規職員の嘱託職員化及び業務委託や組織の統合等により、職員数を大幅に削減し人件費の抑制を図っている。平成18年度の31名の職員数は、平成29年度には、17名まで減少しており、約4割(14名)の職員の減少となっている。

平成30年度は、会計統合に伴い簡易水道事業会計支弁職員が加わることから、前年度比で6名の増加となる。

上水道事業職員の推移

(単位:人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年度末職員数	29	24	22	22	22	21	20	19	19	18	17	23
増減	△ 2	△ 5	△ 2	0	0	△ 1	△ 1	△ 1	0	△ 1	△ 1	6

8. 収支の概要

1. 収益的收入

2,136,923千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額
	営業収益	1,194,365
1	給水収益 水道料金収入	1,148,100
2	受託工事収益 受託工事による収入	216
3	その他営業収益 給水収益、受託工事収益以外で通常発生する収益 ○手数料 ○負担金 ○加入金 ○補償金 他	46,049
	営業外収益	932,557
4	受取利息及び配当金 預金利息等	101
5	他会計補助金 一般会計補助金 ○未普及地域解消事業維持費 ○企業債償還利息 他	473,635
6	長期前受金戻入 減価償却費に見合う財源の収益化額	457,643
7	消費税及び地方消費税還付金 消費税還付金	3
8	雑収益 不用品の売却代金 営業外で発生する雑収益 ○土地貸付料、コピー代 他	1,175
	特別利益	10,001
9	固定資産売却益 固定資産売却による差益	10,000
10	過年度損益修正益 前年度以前の損益の修正で利益の性質を有するもの	1
	水道事業収益合計	2,136,923

2. 収益的支出

1,962,162千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額
	営業費用	1,704,383
1	原水及び浄水費 取水、浄水送水施設の維持及び作業に要する費用 ○職員給与費 3人 ○修繕費 ○水質検査委託料 ○動力費 他	186,189
2	配水及び給水費 配水施設、量水器の維持及び作業に要する費用 ○職員給与費 6人 ○動力費 ○施設維持修繕費 ○支障移転工事費 ○給水管切替工事費 他	309,339
3	受託工事費 受託工事に要する費用	160
4	業務費 検針、料金調定及び集金その他に要する費用 ○職員給与費 5人 ○金融機関取扱手数料 ○検針業務委託料 他	95,976
5	総係費 事業活動の全般に要する費用 ○職員給与費 6人 ○退職給付費 ○退職手当組合負担金 ○業務委託料 他	128,946
6	減価償却費 固定資産の減価償却に要する費用	963,513
7	資産減耗費 資産の減耗に要する費用	20,200
8	その他営業費用 その他営業活動に要する費用	60
	営業外費用	253,699
9	支払利息及び企業債取扱諸費 企業債利息	176,689
10	雑支出 上記以外の営業外費用 控除対象外消費税 他	30,010
11	消費税及び地方消費税 納付消費税	47,000
	特別損失	3,000
12	過年度損益修正損 前年度以前の損益の修正で損失の性質を有するもの	3,000
13	その他特別損失 当年度の経常的費用から除外すべき損失の性質を有するもの	0
	予備費	1,080
14	予備費 予備費	1,080
	水道事業費用合計	1,962,162

3. 資本的收入 662,711千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額
	他会計補助金	321,667
1	他会計補助金 一般会計補助金 ○企業債償還元金 他	321,667
	工事負担金	40,925
2	工事負担金 ○配水施設整備工事負担金 ○消火栓新設工事負担金	40,925
	企業債	300,000
3	企業債 建設改良に充てるための企業債 ○配水管等改良事業	300,000
	固定資産売却代金	119
4	固定資産売却代金 固定資産売却代金	119
	資本的收入合計	662,711

※資本的收入額が資本的支出額に対し不足する額671,855千円は、当年度分消費税等資本的収支調整額40,644千円、過年度分損益勘定留保資金104,049千円、当年度分損益勘定留保資金527,162千円で補てんする。

4. 資本的支出

1,334,566千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額
	建設改良費	576,165
1	資産購入費 資産購入費 ○出庫量水器	5,946
2	改良費 配水施設の改良等に要する費用 ○消火栓新設工事費	4,910
3	配水施設費 配水施設の改良等に要する費用 ○職員給与費 3人 ○配水管改良 (単独分) ・竹迫町地区浜田196、204号線配水管改良工事 他 ○補償金工事 ・国関係 国道関連 ・県関係 県道関連 ・市関係 市道、下水道関連	565,309
	企業債償還金	758,401
4	企業債償還金 企業債償還元金	758,401
	資本的支出合計	1,334,566

平成30年度
浜田市工業用水道事業会計当初予算説明資料



浜田市工業用水道事業 第2水源地

1. 平成30年度の予算編成の基本方針について

浜田市工業用水道事業は、企業の生産活動を支える重要なライフラインである。

企業への安定給水を行うことを第一に、継続した健全経営を行うため、計画的かつ効率的な事業運営を目指し予算編成を行う。

また、東日本大震災以降、中国電力株式会社の原子力発電所をはじめ、全国の原子力発電所のほとんどが停止し、再稼動が困難を極めている状況から、三隅発電所の重要性は益々高まり、工業用水道の安定供給が欠かせないものとなっている。

さらに、工業用水道水の安定供給のため、水位計及び配水管等の資産の老朽化に伴う修繕費等の維持管理や更新を引き続き実施する。

2. 平成30年度の予算編成概要について

地方公営企業法及び地方公営企業会計基準が改正され、平成26年度予算・決算からの適用となっているため、適正に対応する。

(1) 新会計基準による主な改正事項

- ①借入資本金の負債計上
- ②みなし償却制度の廃止（補助金等により取得した固定資産の償却費への計上）
- ③引当金の計上（退職給付引当金の義務化等）
- ④減損会計やリース会計の導入
- ⑤キャッシュ・フロー計算書作成の義務化
- ⑥重要な会計方針等の注記記載の義務化による説明責任の強化
- ⑦組入資本金制度の廃止（その他未処分利益剰余金変動額の項目の追加）

(2) 収益的収入及び支出

収入の給水収益は、契約給水量で見込んでいる。

営業外収益は、対前年度予算比で4,380千円の減額となっている。これは、長期前受金戻入のうち、機械及び装置の耐用年数が20年のものが多く、平成8年設置から20年を経過し、償却終了に伴う収益化の終了による4,340千円の減額が主な内容となっている。

収益的費用は、総額で127,293千円で対前年度比4,380千円の減額を見込んでいる。

減額の主な要因は、平成29年度実施の事務事業量調査に伴う総係費の人件費1名減、施設の老朽化に伴う修繕費の増、減価償却費などの減額があげられる。

予定キャッシュ・フロー計算書において、業務活動によるキャッシュ・フローは、7,935千円の黒字、投資活動によるキャッシュ・フローは、65,169千円の赤字、財務活動によるキャッシュ・フローは、13,354千円の赤字となり、平成30年度予算の資金の減少額は、△70,588千円と見込んでいる。

(3) 資本的収入及び支出

資本的収入における工事負担金については、水位計更新工事に伴う企業からの負担金となっている。

また、支出については、工業用水道水の安定供給のために水位計の更新工事、耐用年数を経過した配水管の更新工事等を実施するものである。

なお、資本的収支差額の不足額については、全て内部留保資金を補てん財源として充てる。

3. 平成30年度予算と平成29年度予算との比較

(1) 業務の予定量

項 目	30年度予算	29年度予算	増減	増減率
給 水 件 数 (件)	3	3	0	0.0%
年 間 総 給 水 量 (千m ³)	1,898	1,898	0	0.0%
一 日 平 均 給 水 量 (m ³)	5,200	5,200	0	0.0%

(2) 収益的収入及び支出

(単位：千円、税込み)

款	項	30年度予算	29年度予算	増減	増減率
工業用水道事業収益		127,293	131,673	△4,380	△3.3%
	営 業 収 益	98,392	98,392	0	0.0%
	営 業 外 収 益	28,901	33,281	△4,380	△13.2%
工業用水道事業費用		127,293	131,673	△4,380	△3.3%
	営 業 費 用	120,373	124,266	△3,893	△3.1%
	営 業 外 費 用	5,920	6,407	△487	△7.6%
	予 備 費	1,000	1,000	0	0.0%

(3) 資本的収入及び支出

(単位：千円、税込み)

款	項	30年度予算	29年度予算	増減	増減率
資 本 的 収 入		3,441	4,034	△593	△14.7%
	工 事 負 担 金	3,441	4,034	△593	△14.7%
資 本 的 支 出		89,338	24,768	64,570	260.7%
	建 設 改 良 費	75,984	11,902	64,082	538.4%
	企 業 債 償 還 金	13,354	12,866	488	3.8%

(4) 予算実施計画

収益的収入及び支出

(単位：千円、税込み)

款	項	目	30年度予定額	29年度予算額	増減額	増減率	備 考
1. 工業用水道事業収益			127,293	131,673	△4,380	△3.3%	
	(1) 営業収益		98,392	98,392	0	0.0%	
		1. 給水収益	98,392	98,392	0	0.0%	工業用水道料金
	(2) 営業外収益		28,901	33,281	△4,380	△13.2%	
		1. 受取利息及び配当金	387	390	△3	△0.8%	預金利息
		2. 他会計補助金	394	431	△37	△8.6%	一般会計補助金
		3. 長期前受金戻入	28,110	32,450	△4,340	△13.4%	減価償却費に見合う財産の収益化
		4. 雑収益	10	10	0	0.0%	行政財産使用料

支 出

(単位：千円、税込み)

款	項	目	30年度予定額	29年度予算額	増減額	増減率	備 考
1. 工業用水道事業費用			127,293	131,673	△4,380	△3.3%	
	(1) 営業費用		120,373	124,266	△3,893	△3.1%	
		1. 原水及び浄水費	44,602	36,547	8,055	22.0%	原水の取入れ並びに設備の維持及び作業に要する費用
		2. 配水及び給水費	6,975	2,797	4,178	149.4%	配水池、配水管等配水に係る設備、その他の設備の維持及び作業に要する費用
		3. 総係費	32,213	43,535	△11,322	△26.0%	事業活動の全般に関連する費用並びに料金の調定、集金及び検針その他の業務に要する費用
		4. 減価償却費	36,080	40,818	△4,738	△11.6%	固定資産減価償却費用
		5. 資産減耗費	503	569	△66	△11.6%	固定資産除却費用
	(2) 営業外費用		5,920	6,407	△487	△7.6%	
		1. 支払利息及び企業債取扱諸費	1,739	2,226	△487	△21.9%	企業債利息及び借入金利息
		2. 消費税及び地方消費税	4,180	4,180	0	0.0%	
		3. 雑支出	1	1	0	0.0%	
	(3) 予 備 費		1,000	1,000	0	0.0%	
		1. 予備費	1,000	1,000	0	0.0%	

資本的収入及び支出

(単位：千円、税込み)

款	項	目	30年度予定額	29年度予算額	増減額	増減率	備 考
1. 資本的収入			3,441	4,034	△593	△14.7%	
	(1) 工事負担金		3,441	4,034	△593	△14.7%	
		1. 工事負担金	3,441	4,034	△593	△14.7%	水位計更新工事に伴う負担金

支 出

(単位：千円、税込み)

款	項	目	30年度予定額	29年度予算額	増減額	増減率	備 考
1. 資本的支出			89,338	24,768	64,570	260.7%	
	(1) 建設改良費		75,984	11,902	64,082	538.4%	
		1. 改 良 費	75,984	11,902	64,082	538.4%	水位計・配水管更新工事他
	(2) 企業債償還金		13,354	12,866	488	3.8%	
		1. 企業債償還金	13,354	12,866	488	3.8%	

4. 収支の状況

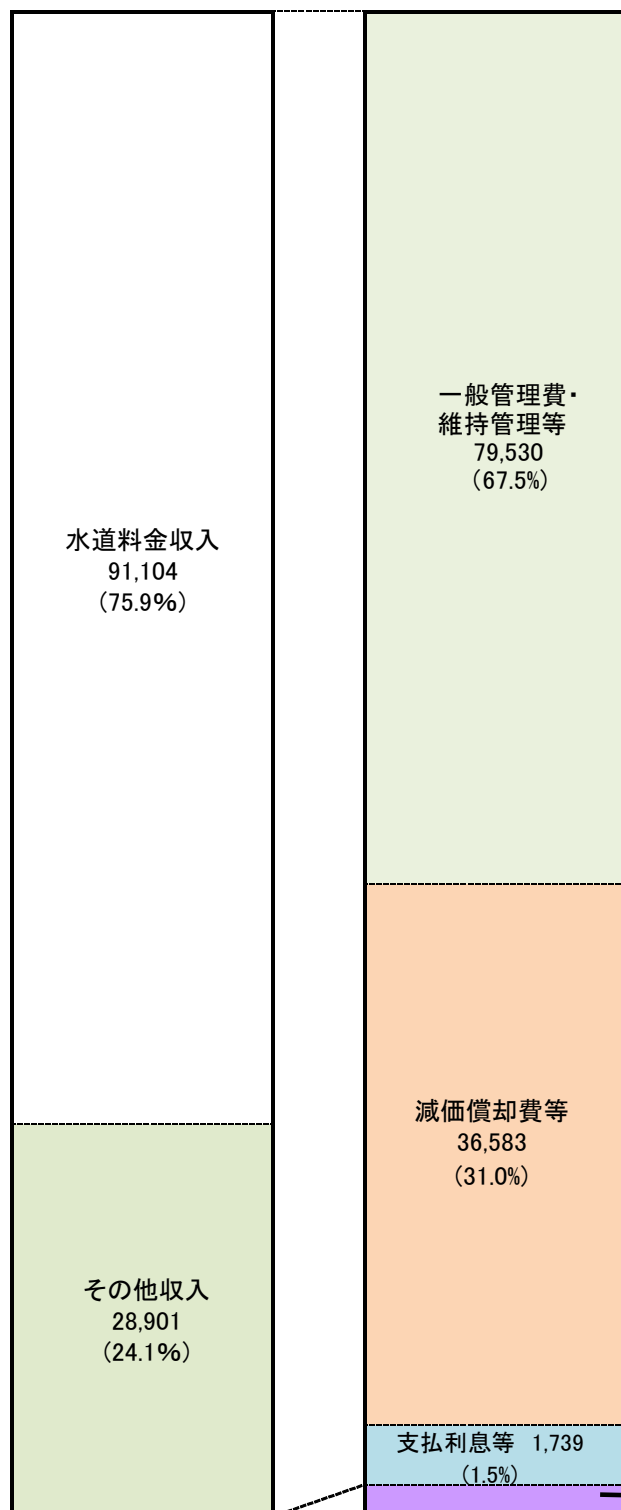
■収益的収支

(事業の管理・運営に関する収入支出)

単位: 千円 (税抜き)

収入 120,005

支出 117,852



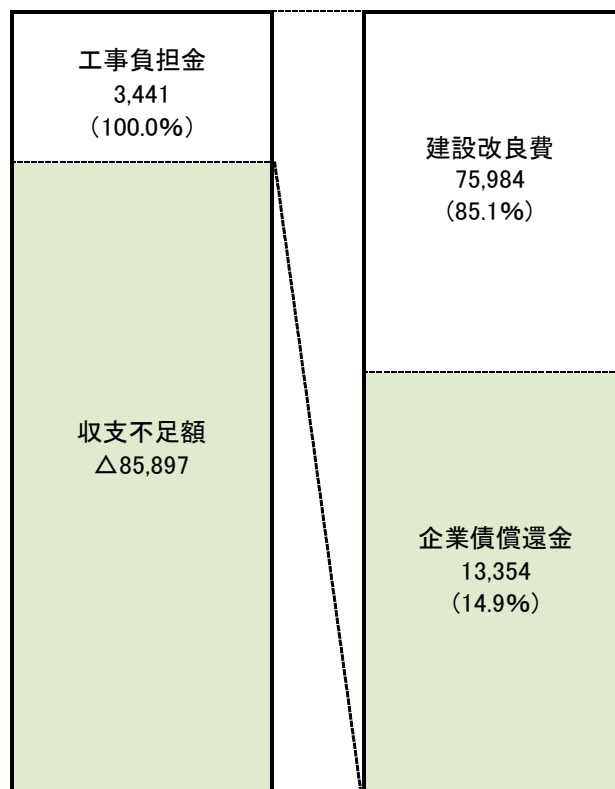
■資本的収支

(企業債償還・施設の建設・改良などに関する収入支出)

単位: 千円 (税込み)

収入 3,441

支出 89,338



【資本的収支】

- ・収入3,441千円、支出89,338千円で、85,897千円の収支不足が発生しますが、この不足分については、減価償却費など現金支出を伴わない費用や減価積立金で補てんします。

【収益的収支】

- ・収入120,005千円、支出117,852千円のため、当年度純利益は、2,153千円となります。

5. 収支の概要

1. 収益的收入 127,293千円

(単位:千円、税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額
	営業収益	98,392
1	給水収益 水道使用料 ○給水先 3件 1日当り契約給水量 5,200m ³	98,392
	営業外収益	28,901
2	受取利息及び配当金 預金利息	387
3	他会計補助金 一般会計補助金 ○企業債利息分及び減価償却費分	394
4	長期前受金戻入 減価償却費に見合う財源の収益化	28,110
5	雑収益 雑収益 ○土地使用料 ほか	10
	工業用水道事業収益合計	127,293

2. 収益的支出 127,293千円

(単位:千円、税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額
	営業費用	120,373
1	原水及び浄水費 原水の取入れ並びに設備の維持及び作業に要する費用 ○修繕費 ○動力費 ほか	44,602
2	配水及び給水費 配水池、配水管等配水に係る設備、その他の設備の維持 及び作業に要する費用 ○修繕費 ○動力費 ほか	6,975
3	総係費 事業活動の全般に関連する費用並びに料金の調定, 集金及び検針 その他の業務に要する費用 ○職員給与費 3名 ほか	32,213
4	減価償却費 固定資産減価償却費用	36,080
5	資産減耗費 固定資産除却費用	503
	営業外費用	5,920
6	支払利息及び企業債取扱諸費 企業債利息及び借入金利息	1,739
7	消費税及び地方消費税 消費税及び地方消費税	4,180
8	雑支出 雑支出	1
	予備費	1,000
9	予備費 予備費	1,000
	工業用水道事業費用合計	127,293

3. 資本的収入 3,441千円

(単位:千円、税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	収入予定額
1	工事負担金 水位計更新工事に伴う企業からの工事負担金	3,441
	資本的収入合計	3,441

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 85,897千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,374千円、過年度分損益勘定留保資金67,169千円、及び減債積立金13,354千円で補てんする。

4. 資本的支出 89,338千円

(単位:千円、税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額
	建設改良費	75,984
1	改良費 施設の改良等に要する費用 ○水位計・配水管更新工事他	75,984
	企業債償還金	13,354
2	企業債償還金 企業債償還金	13,354
	資本的支出合計	89,338